



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年9月30日

上場会社名 株式会社アダストリアホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2685 URL <http://www.adastria.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略部長 (氏名) 新谷 亮 (TEL) 03-6895-6000
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月15日 配当支払開始予定日 平成25年10月22日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績 (平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	63,749	15.6	3,767	0.2	3,980	3.5	2,090	△3.6
25年2月期第2四半期	55,152	5.0	3,761	△19.6	3,844	△19.1	2,169	△9.5

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 3,005百万円 (21.4%) 25年2月期第2四半期 2,474百万円 (3.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	96.04	96.03
25年2月期第2四半期	92.54	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	68,181	40,912	60.0
25年2月期	63,410	38,598	60.9

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 40,905百万円 25年2月期 38,598百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	50.00	—	70.00	120.00
26年2月期	—	50.00	—	70.00	120.00
26年2月期(予想)	—	—	—	70.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	157,900	29.8	10,100	3.9	10,300	3.5	4,900	△11.0	213.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 株式会社NATURAL NINE、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年2月期2Q	24,400,000株	25年2月期	24,400,000株
26年2月期2Q	2,589,381株	25年2月期	2,657,885株
26年2月期2Q	21,768,938株	25年2月期2Q	23,437,668株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成26年2月期の個別業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,500	△50.0	4,900	△47.0	5,100	△47.1	3,100	△43.0	135.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 店舗業態・地域別出退店の状況	11
(2) ブランド・地域別売上高の状況	12
(3) 商品部門別売上高の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）におけるわが国経済は、輸出に持ち直しの動きがみられ、企業収益は製造業を中心に改善しているとともに、物価動向はデフレ状況ではなくなりつつあり、景気は着実に持ち直してきております。

当社グループの属するカジュアルウェア市場におきましては、消費者マインドが緩やかに改善しているとともに、概ね天候に恵まれたこともあり、好調に推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社は、当第2四半期連結会計期間において、株式交換により株式会社NATURAL NINEを連結子会社といたしました。優れたテキスタイルデザインや商品デザイン機能を持ち、アジア各国に拠点を持つ株式会社NATURAL NINEと統合することにより、独自の商品企画機能を持つ企業グループを構築することが、企業価値を大きく高める視点から重要との判断をしております。

当社の売上高につきましては、既存店売上高が前年同期比102.5%となり、概ね順調に推移いたしました。ブランド別では「レピピアルマリオ」、「アパートバイローリーズ」が高い伸びを示し、「ローリーズファーム」、「グローバルワーク」がそれぞれ堅調に進捗しました。

国内の店舗展開につきましては、引き続き積極的に出退店を行い、53店舗の出店、22店舗の退店の結果、当第2四半期連結累計期間末時点での店舗数は、854店舗（内WEBストア21店舗）となりました。

海外の店舗展開につきましては、台湾で2店舗の出店、8店舗の退店、香港で1店舗の出店、2店舗の退店、中国で5店舗の出店、1店舗の退店及びシンガポールで4店舗の出店の結果、当第2四半期連結累計期間末時点での海外店舗数は、台湾25店舗、香港23店舗、中国21店舗、シンガポール8店舗の計77店舗となりました。

また、特別利益として、株式会社NATURAL NINEの連結子会社化に伴う段階取得に係る差益2億2百万円、特別損失として、店舗の減損損失1億13百万円をそれぞれ計上しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は637億49百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は37億67百万円（前年同期比0.2%増）、経常利益は39億80百万円（前年同期比3.5%増）、四半期純利益は20億90百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

なお、平成25年9月1日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社トリニティアーツを株式交換完全子会社とする株式交換を実施し、株式会社トリニティアーツを当社の100%子会社といたしました。同時に、当社を分割会社とし、当社の100%子会社である株式会社ポイント（以下「新ポイント社」）を承継会社とする会社分割（吸収分割）を実施するとともに、経営管理事業を除く一切の事業に関する権利義務を新ポイント社に承継させ、当社グループは持株会社体制に移行いたしました。また、同日付で、当社は「株式会社アダストリアホールディングス」に商号変更しております。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、47億70百万円増加して681億81百万円となりました。これは主に、有価証券（コマーシャルペーパーと国庫短期証券）が64億99百万円減少した一方、現金及び預金が24億17百万円、のれんが57億12百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、24億56百万円増加して272億68百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が6億13百万円、短期借入金が13億55百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、23億14百万円増加して、409億12百万円となりました。これは主に、株式交換により資本剰余金が15億9百万円増加したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます）は、前連結会計年度末に比べて、40億82百万円減少して142億56百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、27億56百万円（前年同期は23億56百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が40億69百万円あった一方、法人税等の支払が22億73百万円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、25億74百万円（前年同期は23億76百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が24億78百万円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、49億85百万円（前年同期は33億58百万円の支出）となりました。これは配当金の支払が15億20百万円、自己株式の取得による支出が40億円あったこと等によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月4日に公表いたしました通期連結業績予想につきましては、株式会社トリニティアーツ及び株式会社NATURAL NINEとの経営統合及び持株会社体制への移行（総称して以下「本件統合」といいます。）による影響が含まれていなかったことから、今般、「本件統合」の影響を算定の上、通期連結業績予想を修正いたします。

主な修正理由としましては、当第2四半期連結会計期間より連結子会社となった株式会社NATURAL NINE及び第3四半期連結会計期間より連結子会社となる株式会社トリニティアーツの業績、並びに「本件統合」に伴って発生したのれんの償却等の影響を反映しております。

「参考」個別業績予想に関する定性的情報

通期個別業績予想につきましては、「本件統合」に伴って、当社が平成25年9月1日より関係会社の経営指導や管理等を行う持株会社へ移行したことを踏まえ、当第2四半期累計期間までの株式会社ポイントの個別業績に、第3四半期会計期間以降の株式会社アダストリアホールディングスの個別業績予想を加えることにより、通期の個別業績予想値を算定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成25年6月4日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社NATURAL NINE HOLDINGSを株式交換完全子会社とする株式交換により株式会社NATURAL NINE HOLDINGSの議決権の100%を取得し、同社及びその子会社である4社(株式会社NATURAL NINE、株式会社CROSS BORDER及び他2社)を当第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、平成25年8月31日付で株式会社NATURAL NINEを存続会社とし、株式会社NATURAL NINE HOLDINGS及び株式会社CROSS BORDERを消滅会社とする合併を実施しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産(店舗内装設備を除く。)について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,849	14,267
受取手形及び売掛金	4,829	6,296
有価証券	6,499	—
たな卸資産	7,749	8,387
その他	2,296	1,919
貸倒引当金	△34	△48
流動資産合計	33,190	30,822
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	5,933	6,397
その他(純額)	5,061	5,059
有形固定資産合計	10,994	11,457
無形固定資産		
のれん	1,797	7,510
その他	812	977
無形固定資産合計	2,609	8,488
投資その他の資産		
敷金及び保証金	11,306	11,907
その他	5,513	5,693
貸倒引当金	△204	△188
投資その他の資産合計	16,616	17,413
固定資産合計	30,220	37,359
資産合計	63,410	68,181
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,909	14,522
短期借入金	508	1,864
1年内返済予定の長期借入金	235	240
未払金	5,581	5,434
未払法人税等	2,378	2,317
賞与引当金	1,212	1,403
役員賞与引当金	51	38
その他の引当金	163	262
その他	191	416
流動負債合計	24,231	26,501

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
固定負債		
社債	31	34
長期借入金	261	311
引当金	101	101
その他	187	321
固定負債合計	581	767
負債合計	24,812	27,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,517	4,027
利益剰余金	40,826	41,414
自己株式	△8,188	△8,892
株主資本合計	37,816	39,209
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	792	1,515
繰延ヘッジ損益	7	19
為替換算調整勘定	△17	161
その他の包括利益累計額合計	781	1,696
新株予約権	—	6
純資産合計	38,598	40,912
負債純資産合計	63,410	68,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	55,152	63,749
売上原価	22,683	27,070
売上総利益	32,469	36,678
販売費及び一般管理費	28,707	32,911
営業利益	3,761	3,767
営業外収益		
受取配当金	28	29
保険解約返戻金	—	73
その他	65	175
営業外収益合計	94	278
営業外費用		
支払利息	0	18
コミットメントフィー	6	6
自己株式取得費用	2	20
保険解約損	—	6
その他	3	15
営業外費用合計	11	65
経常利益	3,844	3,980
特別利益		
固定資産売却益	18	—
段階取得に係る差益	—	202
特別利益合計	18	202
特別損失		
減損損失	78	113
投資有価証券評価損	14	—
特別損失合計	92	113
税金等調整前四半期純利益	3,769	4,069
法人税、住民税及び事業税	2,011	2,216
法人税等調整額	△396	△237
法人税等合計	1,615	1,978
少数株主損益調整前四半期純利益	2,154	2,090
少数株主損失(△)	△14	—
四半期純利益	2,169	2,090

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,154	2,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	273	723
繰延ヘッジ損益	△4	12
為替換算調整勘定	50	179
その他の包括利益合計	320	914
四半期包括利益	2,474	3,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,481	3,005
少数株主に係る四半期包括利益	△6	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,769	4,069
減価償却費	2,169	2,392
減損損失	78	113
のれん償却額	—	404
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△97	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	292	187
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△202
売上債権の増減額(△は増加)	△503	△31
たな卸資産の増減額(△は増加)	310	△236
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,185	△1,732
未払金の増減額(△は減少)	135	△172
未払消費税等の増減額(△は減少)	△112	△32
その他	87	261
小計	3,944	5,016
利息及び配当金の受取額	35	32
利息の支払額	△0	△18
法人税等の支払額	△1,623	△2,273
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,356	2,756
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,077	△2,478
無形固定資産の取得による支出	△141	△344
敷金及び保証金の差入による支出	△551	△655
敷金及び保証金の回収による収入	388	865
その他	5	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,376	△2,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	102	690
長期借入れによる収入	—	257
長期借入金の返済による支出	—	△318
配当金の支払額	△1,664	△1,520
自己株式の取得による支出	△1,796	△4,000
その他	—	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,358	△4,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	83
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,360	△4,719
現金及び現金同等物の期首残高	25,308	18,338
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	637
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,947	14,256

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年4月4日開催の取締役会決議に基づき、平成25年6月4日付で当社を株式交換完全親会社、株式会社NATURAL NINE HOLDINGSを株式交換完全子会社とする株式交換を実施したことにより、当第2四半期連結会計期間において資本剰余金が15億1百万円増加、自己株式が32億60百万円減少しております。

また、平成25年5月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を実施したことにより、当第2四半期連結会計期間において自己株式が40億円増加しております。

このほか、平成25年5月15日開催の取締役会決議に基づき発行した新株予約権の一部が行使されたことにより、当第2四半期連結会計期間において自己株式が35百万円減少しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が40億27百万円、自己株式が88億92百万円となっております。

4. 補足情報

(1) 店舗業態・地域別出退店の状況

店舗業態・地域		店 舗 数					
		前連結会計 年度末	当第2四半期連結累計期間				当第2四半 期連結累計 期間末
			出店等	変 更	退 店	増 減	
レイジブルー	62	3	—	△2	1	63	
ローリーズファーム	149	14	—	△5	9	158	
グローバルワーク	172	6	—	△6	—	172	
ジーナシス	81	2	—	△3	△1	80	
ヘザー	75	2	—	△2	—	75	
ハレ	35	—	—	△1	△1	34	
ナインボックス(注)3	29	5	—	—	5	34	
アパートバイローリーズ(注)4	29	5	—	△2	3	32	
レブシムローリーズファーム	111	3	—	△1	2	113	
レビピアルマリオ	23	5	—	—	5	28	
ジュエリウム	4	—	—	—	—	4	
トゥールノジーナ	5	1	—	—	1	6	
ミイパーセント	3	2	—	—	2	5	
ブリスポイント	6	2	—	—	2	8	
コレクトポイント(ブランド複合型)	1	—	—	—	—	1	
当社合計	785	50	—	△22	28	813	
株式会社バビロン(注)5	38	3	—	—	3	41	
国内連結子会社合計	38	3	—	—	3	41	
国内合計	823	53	—	△22	31	854	
台湾	31	2	—	△8	△6	25	
香港	24	1	—	△2	△1	23	
中国	17	5	—	△1	4	21	
シンガポール	4	4	—	—	4	8	
海外合計	76	12	—	△11	1	77	
グループ合計	899	65	—	△33	32	931	

- (注) 1. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含んでおります。
2. 複数ブランドを商品展開している店舗は、その店舗を運営しているブランドで集計しております。
3. ナインボックスは、ブランドアウトレットを含んでおります。
4. アpartmentバイローリーズは、マリカフリッカーを合算しております。
5. 株式会社バビロンは、同社の子会社である株式会社ユニベルシテを合算しております。

(2) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域		当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
		売上高(百万円)	構成比(%)	
	レイジブルー	4,570	7.2	10.2
	ローリーズファーム	12,102	19.0	7.4
	グローバルワーク	13,553	21.3	5.1
	ジーナシス	5,174	8.1	△0.1
	ヘザー	4,083	6.4	△0.0
	ハレ	2,497	3.9	13.2
	ナインブロックス(注)1	4,034	6.3	3.6
	アパートバイローリーズ(注)2	1,706	2.7	19.5
	レプシムローリーズファーム	6,137	9.6	2.9
	レピピアルマリオ	1,343	2.1	52.4
	ジュエリウム	199	0.3	△32.1
	トゥールノジーナ	188	0.3	34.1
	ミイパーセント	120	0.2	—
	ブリスポイント	836	1.3	13.1
	その他	6	0.0	—
	当社合計	56,553	88.7	6.3
	株式会社バビロン(注)3、4	2,355	3.7	—
	その他の連結子会社(注)5	1,498	2.3	—
	国内連結子会社合計	3,853	6.0	—
	国内合計	60,407	94.7	13.6
	台湾	685	1.1	12.9
	香港	1,950	3.1	82.7
	中国	411	0.6	64.6
	シンガポール	294	0.5	592.6
	海外合計	3,342	5.3	69.9
	グループ合計	63,749	100.0	15.6

- (注) 1. ナインブロックスは、ブランドアウトレットを含んでおります。
2. アpartmentバイローリーズは、マカフリッカーを合算しております。
3. 株式会社バビロンは、同社の子会社である株式会社ユニベルシテを合算しております。
4. 株式会社バビロンは、平成24年11月1日付で連結子会社となったため、前年同期比増減率は記載していません。
5. その他の連結子会社は、株式会社NATURAL NINE及び株式会社ポジックを含んでおります。

(3) 商品部門別売上高の状況

商品部門	当第2四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)	11,754	18.4	11.3
レディース(ボトムス・トップス)	39,276	61.6	10.2
雑貨・その他	12,718	20.0	42.3
合計	63,749	100.0	15.6

- (注) 雑貨・その他は、株式会社NATURAL NINEの売上高及びポイント引当金繰入額等を含んでおります。